

平成30年度子ども議会（小学生の部） 質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	回答要旨	答弁者	再質問	再質問の回答
1	1	八基小学校	ふるさと八基の活性化について	・渋沢栄一記念館に市外からバスや車で多くの人が見学に来ます。もっと多くの人に八基地区に来てもらい知ってもらいたいで、栄一記念館で八基にちなんだイベントを各ブースで開催したいです。 ①八基小の子供達や地域の人が踊る伝統の獅子舞 ②栄一翁が好んで食べた深谷ねぎが入った煮ぼうとうの試食 ③ホテル池に生息するホテルの鑑賞会 ④郷土の料理を楽しむ、ねぎ一本焼きの試食 ⑤不用になったものや洋服を販売するフリーマーケット ⑥「キッズニアin八基」と題した子供向けの農業体験コーナー ・子供からお年寄りまで気軽に参加できる取り組みを行い、ふるさと八基をアピールしたいです。 市では、人々の関わりが広がるために八基の活性化をどのようにお考えですか。	・八基地区では、渋沢栄一記念館のほかにも公民館や地元団体が中心となって様々な行事が開かれています。 ・議員からご提案のありました6つのイベント案について、現在、八基地区で開催されているイベントにあわせて、みなさんに参加してみたいかかでしょうか。 ・ただし、一度に6つのイベントを開催することは、準備や運営の点からも難しいと思いますので、まずは、6つの中から皆さんが取り組みたいことを学校や地域の皆さんで相談いただきたいと思います。参加できる準備が出来ましたら、ぜひ、毎年開催している「青淵まつり」などの際にご参加いただきますようお願いいたします。	教育部長		
2	2	上柴西小学校	深谷市の交通について	・市内の全ての横断歩道に信号機はついていきますか。私が通る通学路の横断歩道には、信号機がついていません。信号機がない横断歩道に歩行者がいても、約8割の車が止まらないそうです。事故が起こらないように信号機をつけて欲しいです。 ・深谷市は、事故を減らすためにどのような取り組みをしていますか。	・信号機については、警察が交通量や道路環境などから、必要性を判断し設置するものであり、市で設置することはできませんが、ご意見に基づき、事故発生危険性が高い場所への設置を警察へ働きかけてまいります。 ・市では交通安全の取組みとして、警察や交通安全母の会等の関係団体と協力し、市内の幼稚園、保育園、小・中学校での交通安全教室や、高齢者を対象とした交通安全講習会、交通安全運動期間に合わせ、街頭キャンペーンを行い、交通安全の教育、啓発活動を行っています。 ・更に、広報、市ホームページ、ポスターやチラシ等により、交通ルールを守ることやマナーの向上を呼び掛けています。	都市整備部長		
3	3	上柴東小学校	市外から、いかに深谷市に足を運んでもらうかについて	・籠原駅南口～深谷日赤線の国際十王交通(株)のバスが、今年9月30日で廃止になると聞きました。バスが無くなると市外から日赤病院への通院や、アリオに買い物に来る人の交通手段が減ってしまいます。 ・籠原駅か深谷駅まで電車に乗り、くるりんを利用すると一駅分の電車賃が余計にかかります。これに対し、くるりんバスの増便は考えていますか。 ・また、事前予約型は不便だと思います。利用者の利便性向上のために考えていることがあれば、お答えください。	・国際十王交通㈱「籠原駅南口～深谷日赤線」路線廃止については、継続困難と判断され決定した説明を聞いています。 ・この路線バス廃止は残念ですが、民間バスであり強くお願いすることが難しい状況です。廃止に伴う移動手段確保は、デマンド(予約型)バスを検討中です。 ・また、市外からの来訪者は深谷駅からアリオ深谷への無料シャトルバスが運行されているので、これを利用すれば移動可能です。 ・今後も利用者の利便性向上について検討してまいりたいと存じますので、ご理解をお願い申し上げます。 ・市外から、深谷市に足を運んでもらうためには、まずは、市内に魅力のある場所がたくさん増えて行く必要があります。今後さらに、魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。	都市整備部長		
4	4	豊里小学校	防犯カメラの設置について	・全国で強盗、誘拐などの事件が多発しています。深谷市でも、このような事件がいつ、どこで起こるか分かりません。 ・そこで警察にお願いして「防犯カメラ」を設置することを提案します。公園や暗く人通りの悪い道などに防犯カメラを設置し、安全対策をして欲しいと思いました。 ・「防犯カメラ」のメリットは、犯人の手掛かりが見つかることや犯罪の抑止力になることです。デメリットは、費用の問題やプライバシー保護、システム管理などいろいろな問題があります。 ・安全、安心な深谷市を目指して、「防犯カメラ」を設置し、被害を減らしたいと考えます。	・各学校では、スクールガードリーダーなどの皆さんに協力をいただき、児童・生徒の登下校時の見守り活動を行っています。警察署、自治会と協定を結び、犯罪や不審者情報を、防災行政無線、メール配信サービスや、学校を通じて登録された保護者の皆さんに携帯電話のメールでお知らせしています。 ・深谷駅や岡部駅周辺に防犯カメラを設置しており、警察からの依頼で録画記録を提供することがあります。防犯カメラの設置は、予算やプライバシーへの配慮等を考慮し、特に必要な場所には設置を検討し、安全・安心なまちづくりを進めていきます。	協働推進部長		
5	5	岡部小学校	障害者とけんじょう者がふれ合える場所づくりについて	・村岡選手の活躍を見て、障害者スポーツが身近にあるように感じました。テレビで車いすバスケやテニスを見て、カッコいいと感じ、試合を間近で見たいと思いました。 ・深谷市では、どこで障害者の方々スポーツをしているのか分かりません。障害者スポーツの充実と障害者と健常者がスポーツを通じて、触れ合えるイベントや場所を設けていただきたいと提案します。 ・障害者の方が気軽に参加できるようビクトートルなど、近くの施設で障害者スポーツが開催されるときは、活動内容を広く市民に周知していただきたい。健常者のサポートが必要な時も気軽に参加でき、障害者と健常者が壁を越えて交流できると思います。	・障害者と健常者が壁を越えて交流できる「共生社会」が求められている。村岡桃佳選手の活躍は感動を与え、障害者の方々にも勇気と希望を与えてくれ、深谷市として誇りに思います。 ・障害者スポーツは、国では「全国障害者スポーツ大会」があり、県では「彩の国ふれあいピック」があります。今年は「全国ろうあ者体育大会」が埼玉で行われ、深谷も会場となっています。 ・障害者と健常者の壁を越えた交流は、「ふれあいスポーツ大会」や「障がい者スポーツ体験交流会」、「福祉健康まつり」や「障害者文化作品展」などのイベントを開催しています。今後、「共生社会」を目指して、誰もがスポーツを気軽に楽しめるよう、様々なイベントや、障害者に対する理解が深められるような事業に取り組み、広く市民にお知らせし、活動を市全体に広めてまいります。	教育部長		
6	6	榛沢小学校	総務部(災害時の対応)について	・大災害が発生し、国から支援が届くまで、深谷市では、どのくらいの非常食や水などを備蓄しているのですか。 ・また、どこに保管してしてありますか。	・市では、災害時の想定避難者数を約50,000人と想定しています。 1人1日3食分で約150,000食の備蓄を目標としています。 ・現在の備蓄量は、約59,000食であり、主な非常食は、お米で、白米を始め、ドライカレーや五目ごはんなどのほか、缶入りパンやクラッカーなども備蓄しています。飲料水は、500mlのペットボトルを約32,000本、備蓄しています。他にトイレットペーパーや紙おむつなどの日用品も備蓄しています。また、食糧などの足りない分は災害協定を締結している企業から協力をしてもらいます。 ・非常食や飲料水は、公民館などにある18箇所の防災倉庫に保管しています。 ・市としても、引き続き、備蓄品の管理、整備をしていきます。議員も災害に備え家族の方と話し合ってください。	総務部長		

平成30年度子ども議会（小学生の部） 質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	回答要旨	答弁者	再質問	再質問の回答
7	7	本郷小学校	農産物が全国や世界的に有名になるために行っている取り組みについて	・深谷市では、ブロッコリーやトウモロコシ、チューリップなど、様々な農産物が作られています。これらの農産物が日本や世界で知られ、世界中の人々が深谷産の野菜を食べたり、花を楽しんだりできると良いと思いました。 ・日本中の皆さんに知らってもらうために、どのような取り組みをしているのか教えてください。	・日本中の皆さんに知ってもらうため、全国ねぎサミットや全国ゆりサミット等において、深谷の農産物をPRするイベントを行っています。 ・市民に対しても、深谷の農産物をもっと知ってもらうため、「ふかや花フェスタ」や「深谷市産業祭」などのイベントを行っています。 ・PR用のトラック「ふっカーゴ」を使って、東京を中心とした首都圏の様々な場所で、深谷出張博覧会というPRイベントも行っています。 ・イベント以外の取り組みでは、市のホームページやSNSを使って、日本や世界の人に情報発信を行っています。 ・深谷市の農業情報を、もっと積極的に発信していき、多くの人達から、たくさんの「いいね」がもらえるように努めていきたい。	産業振興部長		
8	8	岡部西小学校	街灯を町に増やすことについて	・夜間、自動車から歩行者や自転車が見えるように、町に街灯を増やして欲しいです。暗い道を通ったとき、すごく心配で心がドキドキしてしまいました。子どもが大きくなるにつれ、帰宅時間が遅くなるので特に危険です。皆が安全に過ごせるように街灯を増やしたほうが良いと思います。	・市では、交通事故防止や防犯を目的に、夜間、歩行者などの利用が多い道路や通学路、防犯上必要と思われる箇所などを優先し、毎年、新しい街灯を設置しています。 ・市としても、少しでも多く設置したいが、街灯を増やすと、電気代や修理代も増える他、農作物への影響等、新規設置については十分な検討が必要です。 ・街灯設置は、自治会を通じて市に要望いただくこととなるので、家族や学校にも相談し、自治会に話していただきたい。 ・夕方や夜間には反射材を着用することが交通事故の防止に有効です。ご自身の身を守るためにも、身近な対策として、ぜひ反射材をご活用いただき、また、周囲の方へも着用を広めていただきたい。	都市整備部長		
9	9	川本北小学校	深谷市の空き家問題について	・自宅の近くに空き家があり、雑草が生え、虫が発生し、ネズミやアライグマなどが住みついているようです。これから空き家が増えると思いますが、今後の深谷市の対策について伺います。 ・私は、空き家をリフォームして、人が住める家にして空き家をなくしたらよいと思います。外国の人や市外の人に住んでもらい、深谷の良いところを紹介し、定住が進めば人口が増加するのではないのでしょうか。	・平成29年度の市内の空き家軒数は1,380軒です。 ・調査結果に基づき、空き家の持ち主全員に通知を送付し、毎年100軒以上の空き家が解消されていますが、それ以上に新たな空き家が発生しているため、市内の空き家の軒数は年々増加しています。 ・議員の「空き家をリフォームし、外国人や市外の方に住んでもらうことで人口増加につなげる」という提案を生かしていきたい。 ・空き家は個人の持ちものなので、市が勝手にリフォーム等はできないが、空き家対策に取り組み、安全で安心して暮らせるまちにしていきたい。	協働推進部長		
10	10	川本南小学校	民生費の増加やお金の手当てについて	・市議会だよりを読んで、民生費の増加が気になりました。平成20年から平成30年の10年間で76億円の伸びがありました。これから高齢者が増えるにつれて、民生費も増加すると思いますが、増える分のお金の手当てについて教えてください。	・民生費にかかるお金は、深谷市に住んでいる人や会社など、たくさんの方に納めていただいたお金である「税金」が使われています。 ・民生費が増えると、もっと多くのお金が必要となり、たくさんの方の「税金」と支えが必要になりますので、深谷市に住む人や会社が増えるような取り組みが必要と考えています。 ・市では、深谷市の魅力がたくさんの人に伝わるように頑張っています。例えば、アウトレットモールをつくり、たくさんのお客さんに、深谷市の良いところを知ってもらうことで、深谷市に住む人や会社を増やし、市に入ってくる税金を増やそうと取り組んでいます。 ・また、仕事のやり方を見直したり、工夫や節約をしたりして、限られた税金を上手に使う努力を続けています。 ・市に入る税金を増やし、入ってきた税金を上手に使う努力を続けて、増加する民生費のお金の手当てをしていきたいと考えています。	企画財政部長		
11	11	花園小学校	旧花園地区の児童館について	・みんなが気軽に行けて、楽しく遊べる児童館やいろいろな楽しい遊具があり、夏には水が出て水遊びなどができるような公園があればよいと思います。みんなが遊べる児童館や公園を作る予定はないのでしょうか。安心してお母さんも子育てができ、少子化問題も減るのではないのでしょうか。	・市内には子育て支援センターが16か所あり、また花園地区には、平成25年度以降、子育て支援センターを2か所開所し、また花園公民館を建て替えて、児童室を設置しました。公園は、市内に121か所、花園地区には11か所の公園があります。 ・現時点では、「児童館」や「公園」を新たに作る予定はないが、引き続き、安全な遊び場の提供をしていきます。	こども未来部長		
12	12	明戸小学校	深谷をより美しくするためについて	・明戸小の自慢できる活動のひとつに「ごみゼロ大作戦」があり、今年で24年目となる明戸小児童会の伝統行事です。深谷市の美化活動が盛り上がれば、今まで以上に美しい街、深谷の知名度が上がるのではないかと考えています。 ・ごみ拾いや除草、花や木の苗を植えることをセットにしたボランティア活動が有効ではないでしょうか。セットで一度に行うことで、多くの方が活動し、一体感も作りだせると感じます。市の考えを聞かせてください。	・市ではゴミの投げ捨て防止や環境美化に対する意識の向上を図ることを目的として、市内全域で春と秋の年2回、ごみゼロ運動を行っています。 ・また、市民団体と一緒に河川清掃などの環境美化や、公共施設や道路などに花壇を作り、花の苗を植え、管理を行うガーデニングボランティアの活動も行われています。 ・明戸小学校では、PTAや地域の方々と「ふかや学校花はなプラン」に参加いただいていますので、伝統のある「ごみゼロ大作戦」とセットで行っていただくことにより、ごみ拾いや除草、花や木の苗を植えるボランティア活動が一緒に行えるのではないかと思います。 ・是非、明戸小学校から市内全域に、この活動が広がるよう、皆さんで話し合ってくださいと思います。	環境水道部長	・ごみゼロ運動に参加した時、多くのごみが落ちていて、実際にポイ捨てをする人が多いと感じました。街にポスターなどを貼り、注意を呼びかけてはどうでしょうか。	・ポスターなどは有効だと思います。市としても、立て看板などを自治会に提供し設置してもらうことで、ポイ捨ての防止を図っています。

平成30年度子ども議会（小学生の部） 質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	回答要旨	答弁者	再質問	再質問の回答
13	13	幡羅小学校	勉強する場所をふやしてほしいことについて	・深谷市には、勉強する場所が少ないと思います。勉強できる場所は幡羅公民館くらいしかありません。幡羅地区や東方町などに勉強する場所が欲しいです。勉強する場所を作っていただきたいです。	・新しく勉強する場所を作ることは、たくさんのお金などがかかるため、難しい状況です。 ・そのため、公民館をもっとたくさん利用できるように考えていきたいと思います。 ・現在、夏宿〜ル・オアシスや、がんばル〜ムなどの事業を行っています。 ・各公民館を今よりも、更に利用しやすくなるよう、知恵をしぼり、その形を広げていこうと考えています。	教育部長	・幡羅公民館などに近い人は利用しやすいのですが、遠い人は家などで勉強するしかないでしょうか。	・小学生も、学校などで認められた一定範囲内は自転車で移動できると思います。友達同士がお互いの家で順番に勉強するなど、保護者の方に迷惑の掛からない範囲で、身近な場所を活用していただきたいと思います。 ・また、机に向かうだけでなく友達と将来のことを話し合ったり、夏休みを生かして身近な地域のことについて調べてみたり、皆さんが興味や関心を持って学ぶ機会を作っていただきたいと思います。
14	14	深谷小学校	深谷シティプロモーション戦略プランについて	・子ども議会参加にあたり、いろいろ調べたところ「深谷市が魅力を伝えるプロモーション活動」に興味を持ちました。企業や行政が、深谷市への移住者獲得のために取り組んでいることが分かりました。大人になったとき、深谷の人口が減っていたらとても残念です。 ・地域、住民の一人一人がどのようなことをしていけば、「移住者獲得」につながるのか、教えてください。	・全国的に人口が減り、深谷市でも人口が減っています。人口が減ると、市の収入も減って市民サービスのために使えるお金が少なくなったり、街の元気がなくなるなど、大きな影響が出てきます。 ・そこで深谷市では、深谷市の野菜や優れた行政サービスといった「深谷の良いところ」を広くお知らせすることで、多くの人に深谷市の良さを知ってもらい、深谷市への訪問者や移住者を増やすことを目標に、「深谷市シティプロモーション戦略プラン」を策定しました。 ・深谷市への訪問者や移住者を増やすためには、深谷の良いところを知ってもらうことが必要です。市民が「深谷のPRマン」となり、深谷市の良いところをお知らせしてもらうことが大切です。 ・深谷市は良いところがいっぱいあります。みなさんには、日ごろから深谷の良いところを探して見つけてもらい、「深谷のPRマン」になっていただきたいです。	協働推進部長	・小学生でも簡単にできる宣伝の方法などがありますか。	・学校で話し合いをして、市の良い所を探してみてください。市内に住んでいるとなかなかわからないことも見つかるかもしれません。そこで気づいたことや市の魅力を市外や周りの人と交流するときに伝えてもらえれば宣伝に繋がります。他にもどんなことができるのかクラスでも話し合ってみてください。
15	15	桜ヶ丘小学校	ふっかちゃん子ども福祉基金について	・ふっかちゃん子ども福祉基金は、登下校時のヘルメットや学校に配布されたアイパッド、障害のある赤ちゃんや保護者の支援などに使われていることを知りました。 ・私は、深谷市の子供達のために使われるふっかちゃん子ども福祉基金を、もっと多くの人に知ってもらいたいです。そうすれば寄付金や会社からの支援が増えると思います。 ・現在のPRは、どんな方法がありますか。また、小学生の私たちに出来ることはありますか。	・「ふっかちゃん子ども福祉基金」は、広報誌やホームページ等、様々な方法でPRを行っています。 ・小学生の皆さんにできることは、小学校に置いてあるペットボトルキャップ回収箱にキャップを入れていただくことで基金に協力していただいています。また、小学生の皆さんが元気な姿でヘルメットを被り小学校へ登下校することで、「ふっかちゃん子ども福祉基金」のPR活動になっています。	こども未来部長		
16	16	大寄小学校	保育園に入れない子どもがたくさんいることについて	・共働きが多い現在、女性の社会復帰が大切と考えました。子育て中の保護者が安心して働ける社会のため、保育園が必要だと思います。幼い子供が友達や多くの大人と関わりながら、成長していくことで、より良い人間関係が作られると思います。 ・保育園の増設予定、計画はありますか、教えてください。	・深谷市では、これまで市だけでなく民間保育園の方たちと協力しながら保育園を作ってきました。 ・しかし、共働き家庭の増加などから、保育園に入園を希望する皆さん全員を受け入れることができない状況になっています。 ・保育園の増設について、保育園の関係者の皆さんと一緒に話し合いをしており、いくつかの園の増設計画が出ています。 ・今後も引き続き話し合いを進めながら、保育園に入りたくて待っている皆さんが全員入園できるよう検討を進めていきます。	こども未来部長		
17	17	藤沢小学校	自転車の通る道について	・自転車で車道を通ると道幅が狭いことが多く、怖いと思うことがあります。自転車が通る新しい道を作ったり、車道を広げたりする計画はありますか。 ・市内の名所をつなげば、深谷市に多くの人が訪れ、楽しんでくれると思います。また、道が出来れば、安心して通ることができ、事故が減ると思います。その道を「ふっかロード」と名付けてはいかがでしょうか。	・市内では、自転車専用の道路はないが、「あかね通り」や「上柴遊歩道」があり、歩行者と自転車が安全に通行できるようになっています。その他、自転車と歩行者の安全対策として、歩道の幅が広い自転車歩行者道等において、自転車と歩行者の通行位置を示すなどの整備を行っています。 ・車道を広げる計画は、必要な土地を買わなければならないため、多額の費用がかかることから、整備は難しい状況です。 ・次に、「校庭の芝生化」は、傷んだ校庭を直す工事にあわせて行っており、今年、深谷西小学校のケヤキ広場や大寄幼稚園の跡地を芝生化する予定です。 ・新しい道を作る計画として、「小山川はつらつプロジェクト」があり、完成は平成32年度頃になる予定です。 ・今後、埼玉県や他の市の整備状況を見ていくとともに、自転車の安全利用の観点から出来ることに取り組みます。新しく自転車専用の道路を整備する場合には、広く市民等に対し名称の募集を検討してまいります。	都市整備部長		
18	18	深谷西小学校	学校の環境整備について	・深谷西小学校には、大きなケヤキの木やシロツメ草などがある「ケヤキ広場」があり、みんなの遊び場になっています。 ・「ケヤキ広場」をもっとみんなが集まる場所にしたいです。自分達で栽培した花や芝生を植えて整備すれば、遊びだけでなく、青空給食も出来ると思います。 ・市では、学校の環境整備について、どんな取り組みをしていますか。また、花を頂いたり、芝生を整備していただけたところはありますか。	・市では、平成22年度に作成した「緑の基本計画」に基づき、学校の緑化を進めています。 ・この緑化を進める方法として、「ふかや学校花はなプラン」や「校庭の芝生化等」の取り組みをおこなっています。 「ふかや学校花はなプラン」では、市から花の苗を配って、地域の方々にも参加してもらい、学校のガーデニングを行っています。 ・次に、「校庭の芝生化」は、傷んだ校庭を直す工事にあわせて行っており、今年、深谷西小学校のケヤキ広場や大寄幼稚園の跡地を芝生化する予定です。 ・緑化された環境を長く保つためには、水やりや雑草の草むしりなどみなさんの協力を期待しています。 ・今後についても、安らぎとゆとりのある学習環境の整備を行うため、緑化を進めていくので、みなさんの協力をお願いします。	教育部長	・市内には小学校が19校ありますが、花苗の提供や校庭の芝生化について、19校全てに対応できるのですか。	・学校花はなプランは全小学校で取り組んでいたいただいています。 ・校庭の芝生化は傷んだ校庭をなおす機会に検討し、可能であれば一緒に実施しています。現在5校で実施済みで、これに加えて深谷西小学校で実施予定です。学校によって校庭の傷み具合や状況が異なりますので、傷みの進んだところから進めています。 ※校庭の芝生化について、当日は4校でお答えしましたが、正しくは5校となりますので、訂正させていただきます。

平成30年度子ども議会（小学生の部） 質問と回答の要旨

発言 順	議席 番号	学校名	タイトル	質問要旨	回答要旨	答弁者	再質問	再質問の回答
19	19	常盤小学校	子育て世代にみりよく的な街づくりによる深谷市の人口増加について	・私が通う学童には、水泳教室があり、大好きな水泳ができます。学童の中に英語やスポーツ、学習塾がある学童は、あまりないと思います。このような取り組みを行う学童を増やすことで、村岡選手や清水選手のように、夢を追い続け世界で活躍する選手を輩出できると思います。 ・また、このような取り組みが広まることで、子育て世代の人が深谷に魅力を感じ、住みやすい街になり、人口増加にも繋がると思います。 ・子供が学びたいことを学べる学童が増えるとういと思います。このことについてどう考えますか。	・学童の目的は、遊んだり、宿題をしたり、おやつを食べたりしながら、子どもが安心して安全に過ごせる生活の場を提供することです。 ・「学童で習い事やスポーツができるようになれば」という意見については、向上心があり、大変素晴らしい考えです。 ・色々な学習やスポーツなどが体験できるプログラムのある学童保育室が増えれば、魅力的で住みやすい街として、人口増加に繋がるとともに、深谷市から優秀な人材を多く輩出できる可能性があります。 ・今後深谷市としても、少しでも子どもたちが楽しく、子育てをしている世代の人が魅力を感じる学童になるように考えて取り組んでいきます。	こども未来部長	・学童保育室に入れない子ども達のため、また、学童保育室を増やすために、自分たちにも出来る取組みはありますか。	・市では、希望者全員が入室できるように学童保育室を整備し、学校の余裕教室等も活用しています。 ・市としては、皆さんが宿題をしっかりやって元気に学童保育室で過ごしていただければありがたいと思います。